



IIxil テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドア 取付説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■取付けされる方へのお願い

- 防火戸の場合は、枠と本体のブランドラベルの名称が防火製品であることを確認してください。枠と本体ともに防火仕様を使用しない場合、遮炎性能を満たしません。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

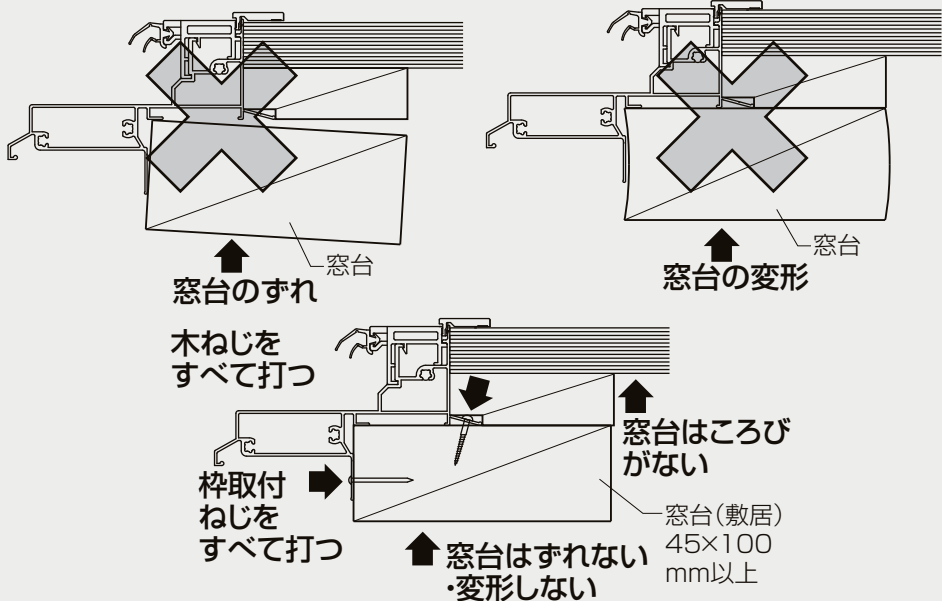
▲注意



- 本体吊り込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。（組立て後の本体重量は最大55Kgになります。）



- 風のあおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下りによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。



- ・テラスドア・開き窓テラスはフリクションアームを必ず取付けてください。取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷することがあります。
- ・採風勝手口ドアはドアクローザーを必ず取付けてください。取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷することがあります。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・テラスドア・開き窓テラスを浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売）をご使用ください。採風勝手口ドアは浴室に使用できません。

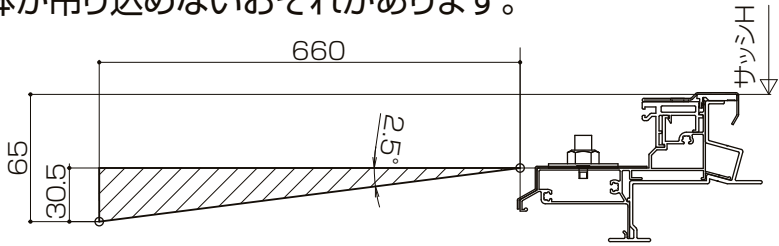


※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

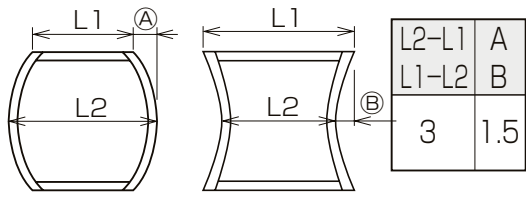
No.	チェック内容	
1	枠の水平・垂直を正確に出して取付けましたか？	☐
2	防水テープはピンホールを生じさせずに圧着しましたか？	☐

■取付上のお願い

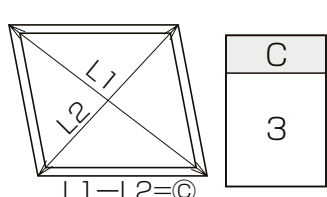
- 必ず指定の取付ねじを使用してください。
- 上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、吊り込んでください。
- 本体の吊り込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみがたつきのないことを確認してください。
- 下枠のピボットヒンジの取付ねじは $3.0 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $30 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで対角順に締め付けてください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が右図の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
- 室外側の仕上げが斜線の範囲に入らないようにしてください。ドア本体が吊り込めないおそれがあります。



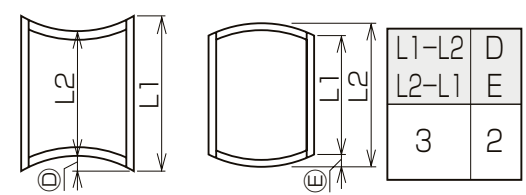
■サッシ枠のフレ・ツツミ



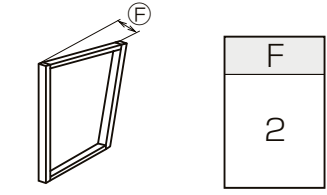
■サッシ枠対角差



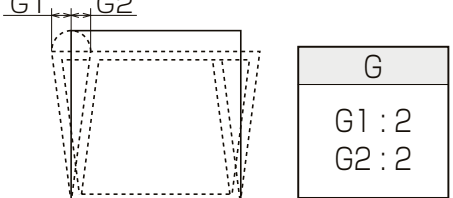
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



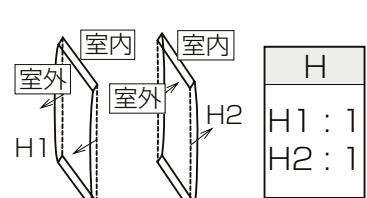
■サッシ枠のねじれ



■サッシの倒れ



■サッシ枠の室内外のソリ



■取付ねじ一覧表

記号	①	㊦	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬
姿図							
	枠取付ねじφ3.1×25 (低頭ねじ)	丸木ねじφ3.5×25	ピボットヒンジ取付金具	トラス小ねじM4×8	皿木ねじφ3.5×38	プッシュボタン	皿ドリルねじφ4×30 ※段窓時に使用します。 ※防火戸では使用しません。

■取付順序

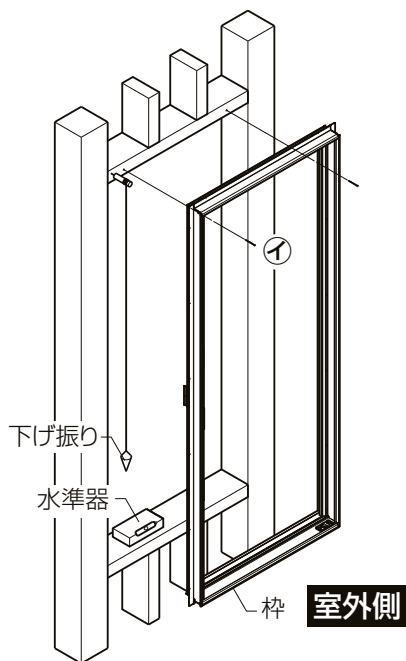
1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を①枠取付ねじ $\phi 3.1 \times 25$ で仮止めします。

▲注意

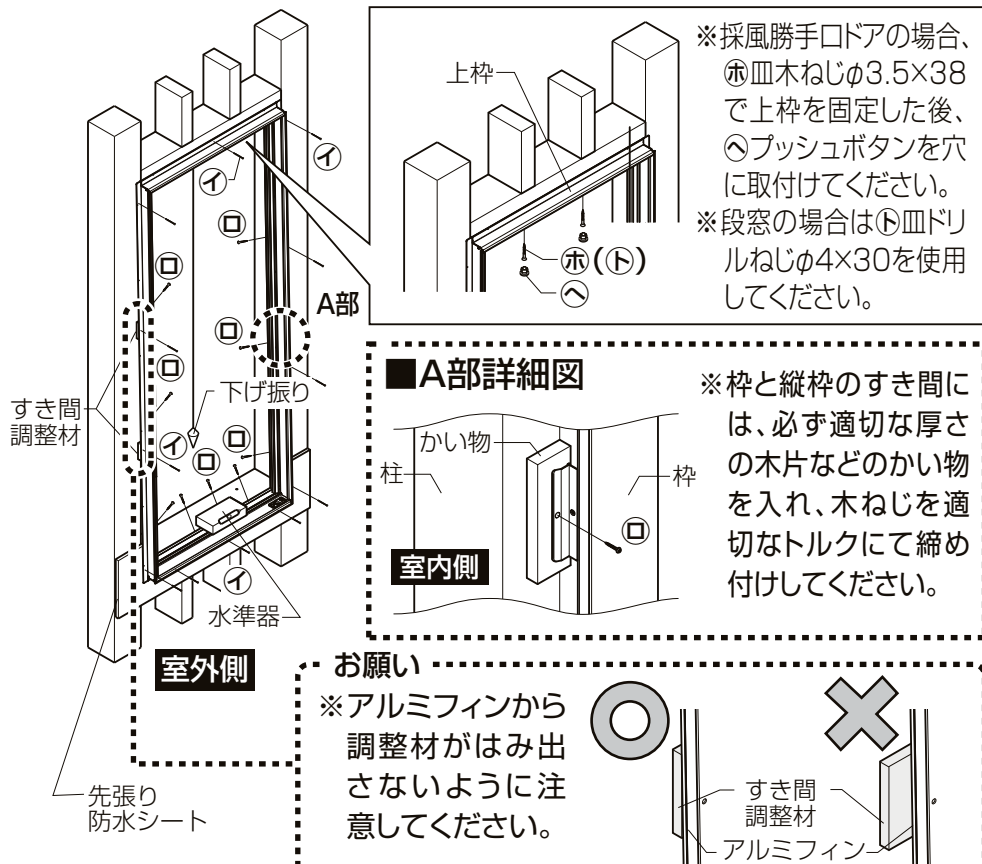


- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。漏水の原因になることがあります。



2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、枠を①枠取付ねじ $\phi 3.1 \times 25$ と②丸木ねじ $\phi 3.5 \times 25$ で固定します。
- ※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)
- ※枠取付ねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にこぼり、開閉不良など不具合が発生することがあります。



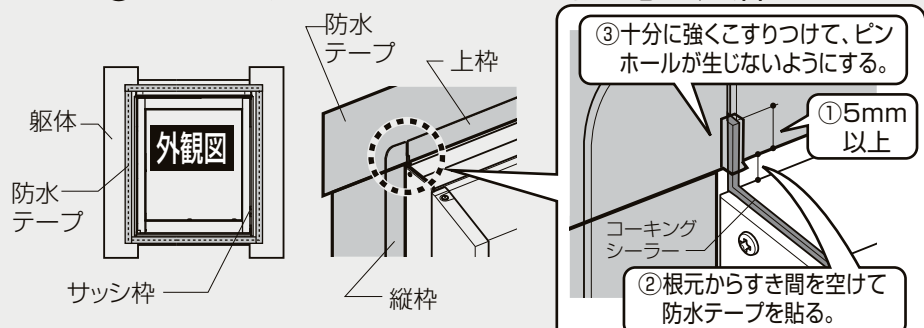
お願い

- ※枠の取付けの際には 冒頭の取付上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じる可能性があります。

▲注意



- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売)を張ってください。
- ①コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ②根元からすき間を空ける。
- ③ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。

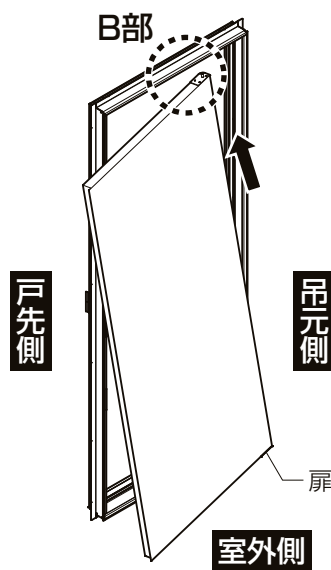


3 本体の吊り込み

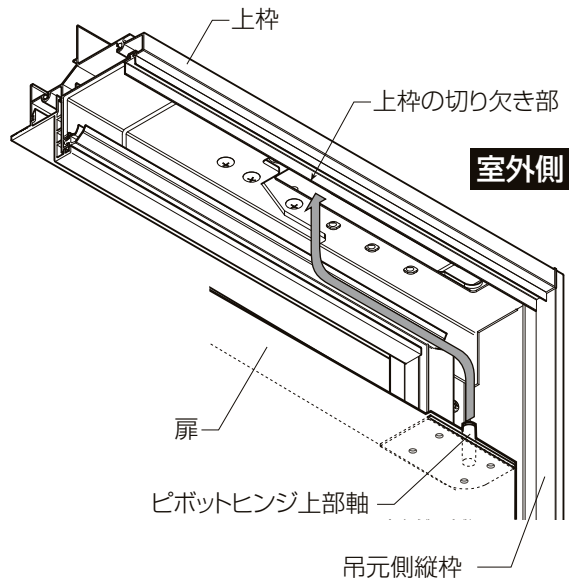
- ①扉を斜めに持ち上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切り欠き部に差込みます。

お願い

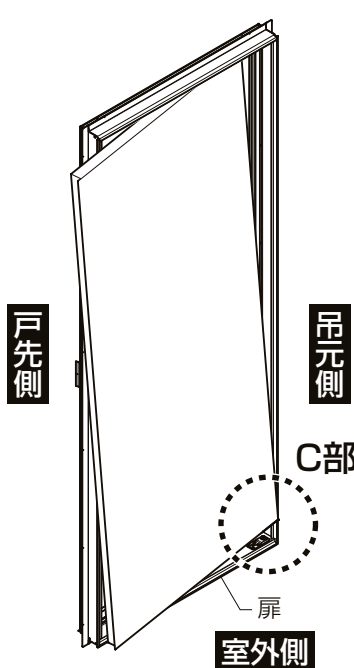
- ※はじめにピボットヒンジ上部軸を差込んでください。下部軸を先に差込むと吊り込みできません。



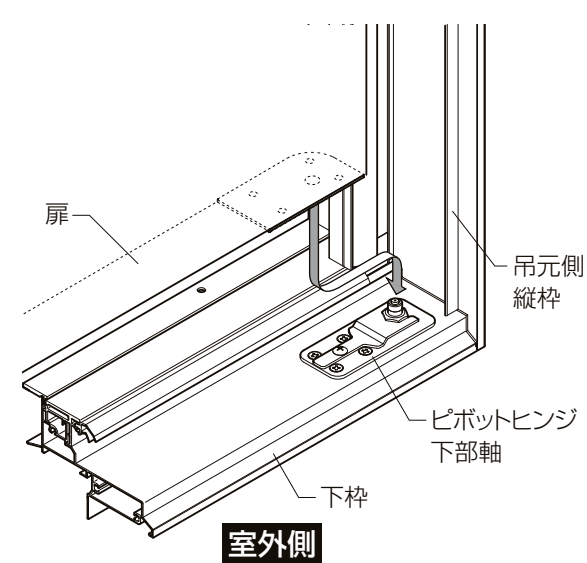
■B部詳細図



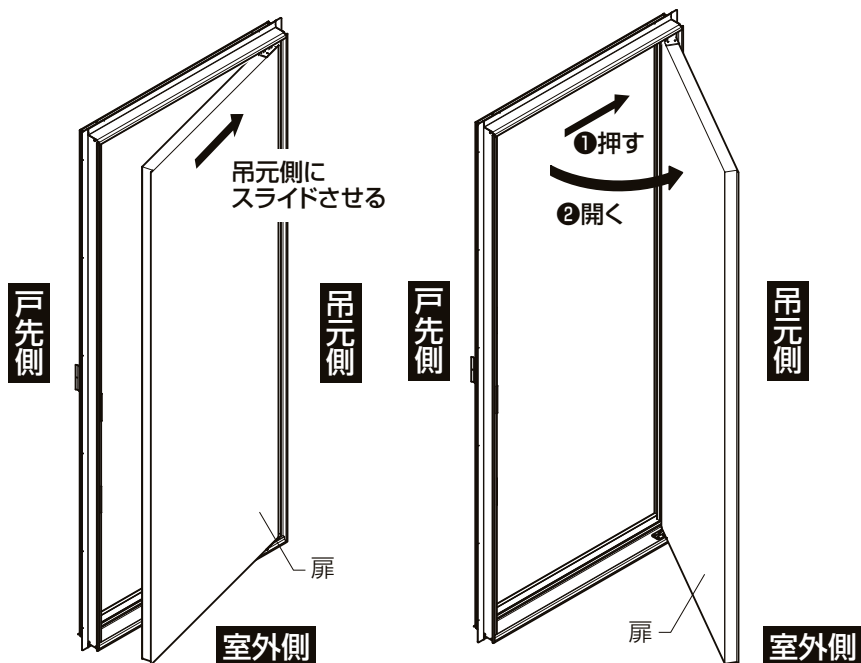
- ②①の状態では扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。



■C部詳細図



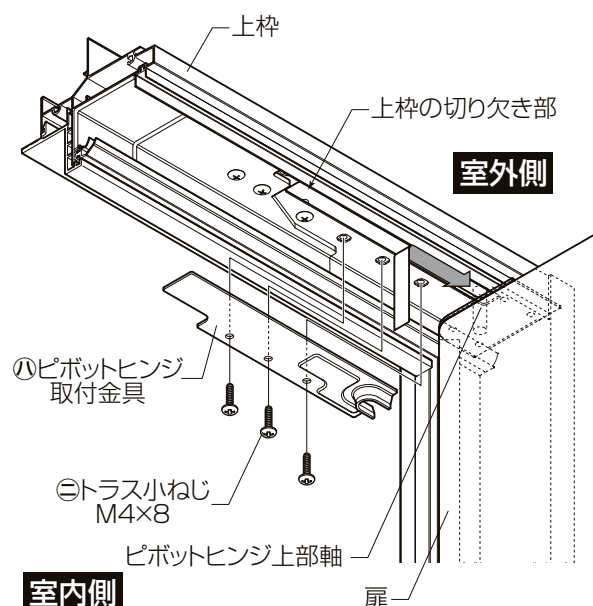
- ③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。



④①ピボットヒンジ取付金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、②トラス小ねじM4×8で固定します。

※必ず手回しドライバーをご使用ください。

■D部詳細図



D部

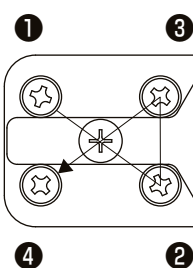
戸先側

吊元側

室外側

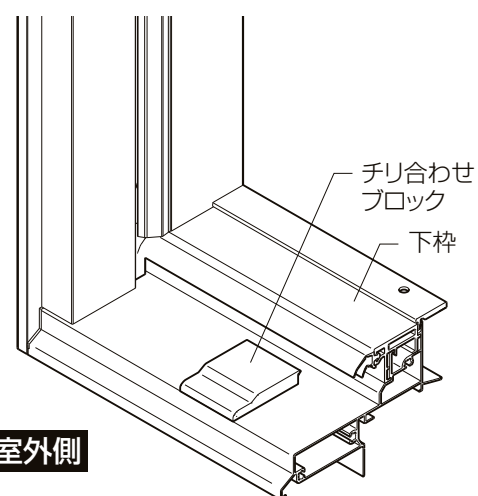
お願い

※下枠のピボットヒンジ取付ねじは仮止めの状態ですので、建付け調整をしない際は、 $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$) のトルクで対角順に締め付けてください。締め付けないと開閉不良など不具合が生じることがあります。



⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

■詳細図



お願い

※取付完了後は必ずチリ合わせブロックを取り外してください。(ドアの開閉に支障がでます。)

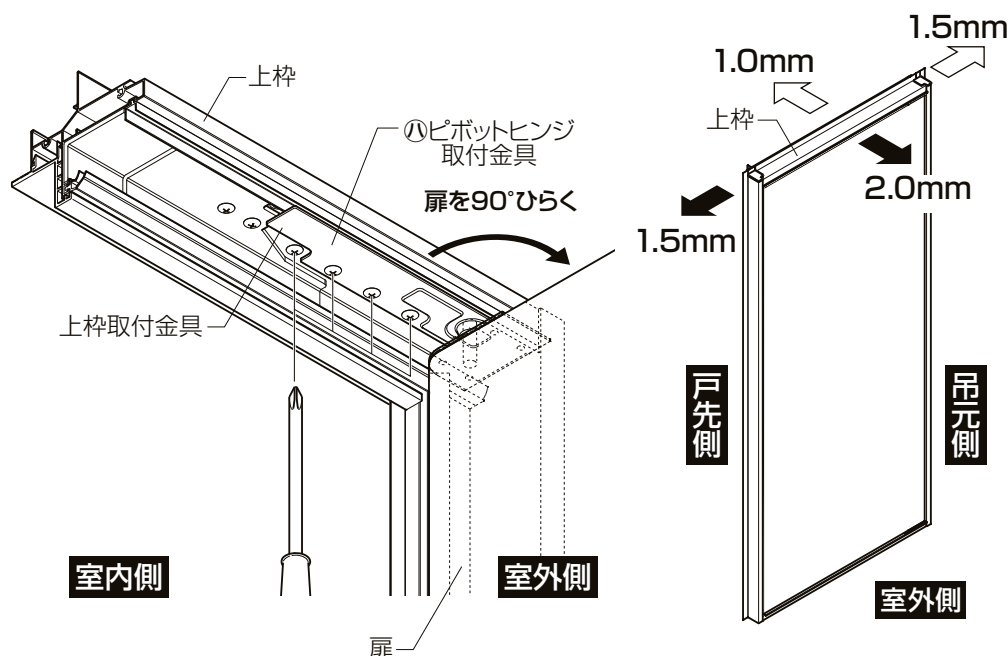
■建付け調整

■前後左右方向の本体の調整

①扉を90°開きます。

②①ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめます。

③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。

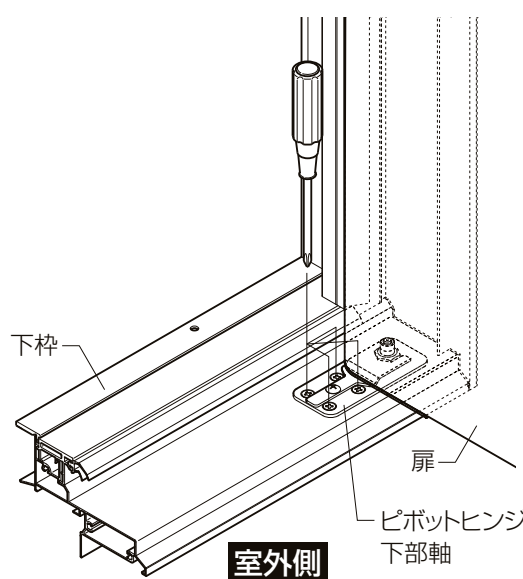
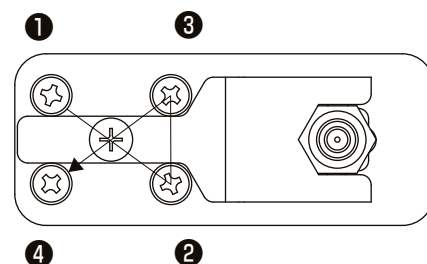
⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。

※必ず手回しドライバーをご使用ください。

建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付ねじは $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$) のトルクで対角順に締め付けてください。

下枠のピボットヒンジを調整しない際も、取付ねじは $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$) のトルクで対角順に締め付けてください。



戸先側

吊元側

1.0mm

1.5mm

室外側

2.0mm

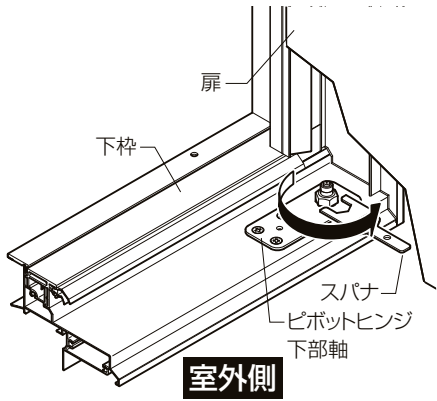
1.5mm

■上下方向の本体の調整

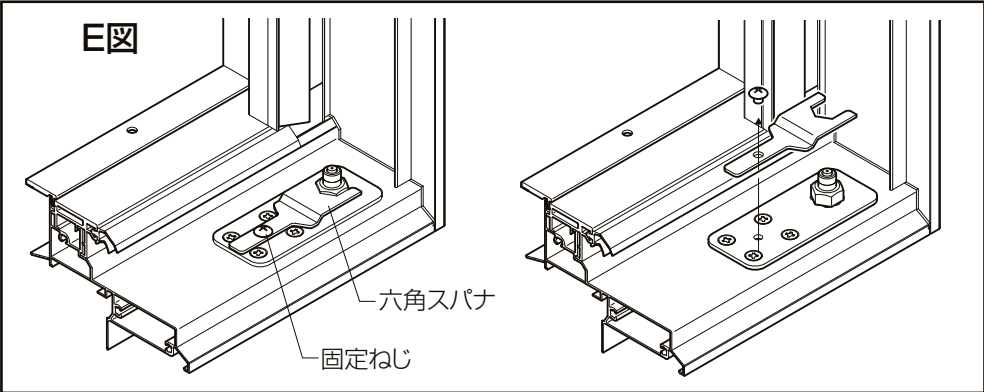
- ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを 右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
- ※右に90°回すことで約0.7mm上げる事が出来ます。
- ※六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(E図)
- 調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。

お願い

※3mmを超えて上げないでください。
また、スパナは必ず元のとおりに取付けてください。ナットが回転して開閉不良など不具合が生じることがあります。

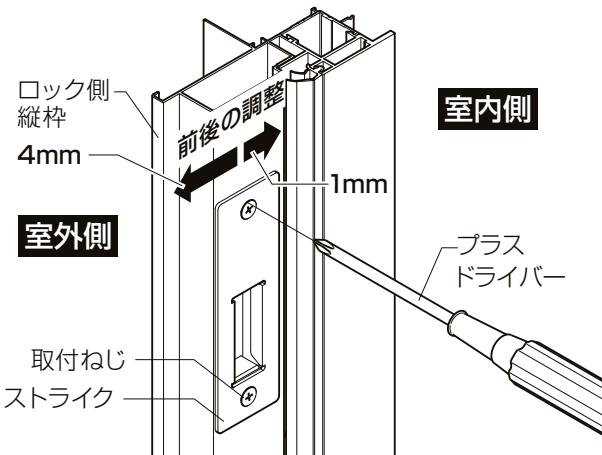


E図



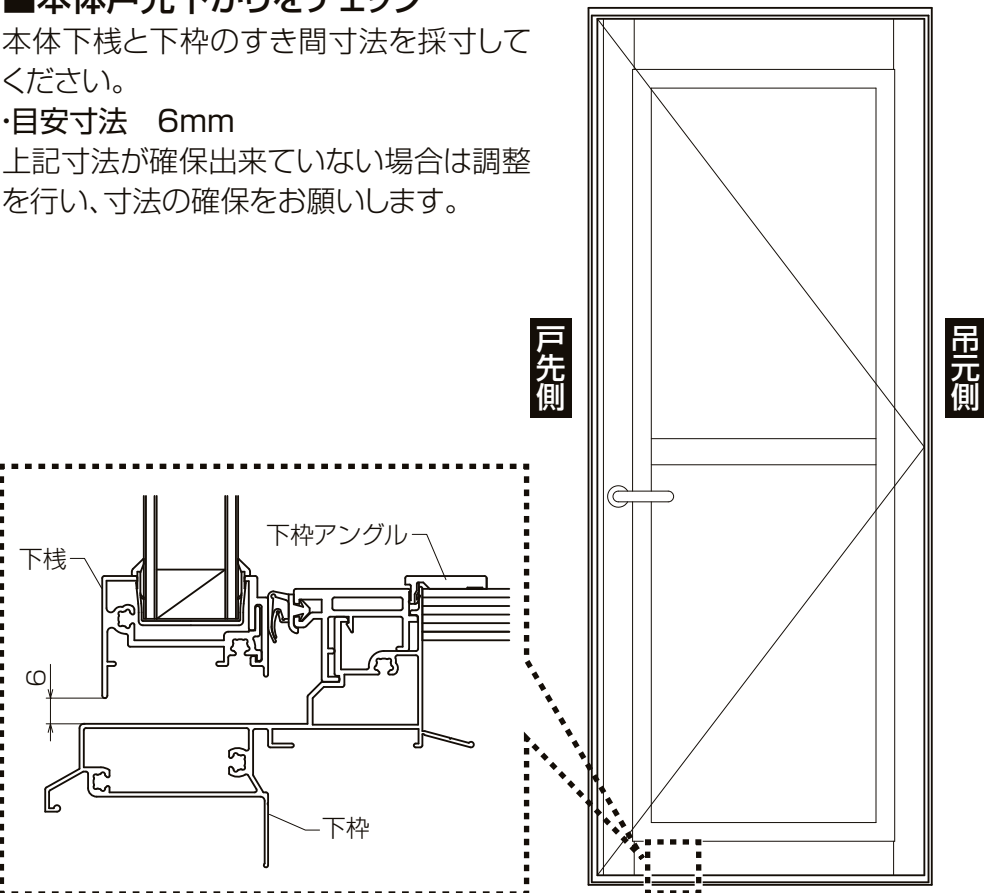
■ストライク調整

- ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
- ①ストライクの取付ねじ2本をゆるめます。
- ②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



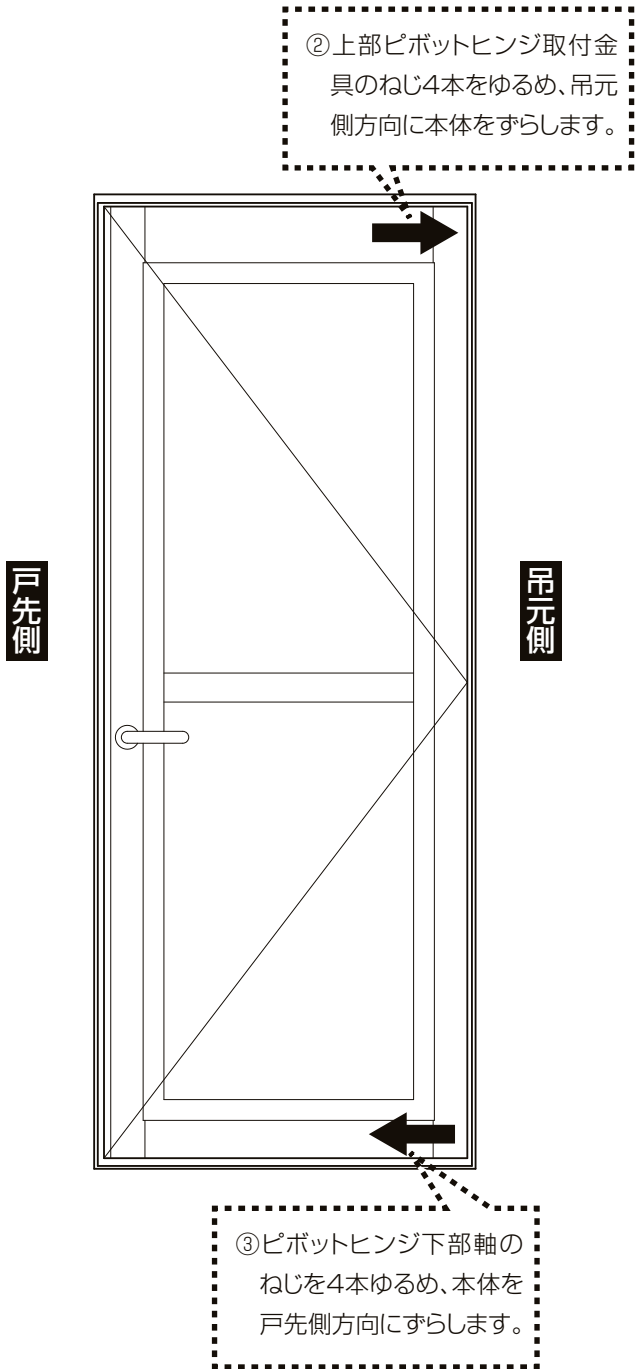
■本体戸先下がりをチェック

本体下枠と下枠のすき間寸法を採寸してください。
・目安寸法 6mm
上記寸法が確保出来ていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。



■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

- ①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。
- 【①にて解決しない場合】
- ②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらししてください。(※下図参照)
- 【①②にて解決しない場合】
- ③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらしてください。(※下図参照)



■下枠アングルの取付け

- ※204単純段差納まりの場合は、「204下枠アタッチメント」同梱の取付説明書をご覧ください。
- ※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
- ※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切り欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。